

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



多くの人と関わって得た経験

栃木県小山市市民生活部国際政策課 川俣 英司

クレアでの3年間は、世界を舞台にスケールの大きな仕事を体験することができました。思い返すと、業務で多くの人と関わり、支援いただいたことは大変恵まれていたと感じます。

業務を通じた人との関わり

東京本部の1年間は、JETプログラム事業部で、来日する外国語指導助手(ALT)の研修事業を担当しました。それまで窓口業務しか経験のなかった私にとって、関係省庁やALTを受け入れる自治体、研修の講師等、多くの方と調整をして進める仕事に苦労することもありました。しかし、全国から派遣された自治体の職員や外国人スタッフに助けられ、協力しながら事業を進めました。

研修では、2,000人近いALTが希望を持って研修を受ける姿を見て、彼らが全国で活躍することを思うと大きな達成感を感じることができました。

シンガポール事務所では、所管する12か国の多様な文化を肌で感じながら、自治体の国際化支援を行いました。インドでの視察研修プログラムや、JETAA(JET参加者の同窓会組織)フィリピン支部の設立といった



やりがいのある事業を担当できたことはとても貴重な経験です。

海外での業務を通じて、外国の機関との調整や出張行程の組み方など多くを学びました。また、事業や出張ごとに異なる職員でチームを組むことで、新しい考え方に触れ、自分の視野を広げることができました。

どの業務でも生かせるクレアの経験

帰任後は、小山市における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を推進する部署で、海外チームの誘致を進めました。ハンガリー水球チームのキャンプやナイジェリア大使館の視察受入れでは、クレアで学んだセレモニーの準備やお客様をアテンドするノウハウが活かされました。

現在は、約7,000人の外国人住民との共生社会推進や、市の国際交流団体の支援に取り組んでいます。今後、どのような業務であっても、クレアで「多くの人と関わって得た経験」が役立つことは間違いありません。クレアでの経験を活かして、これからも市の発展に貢献して行きたいと思います。



地域間交流促進プログラムでインドの初中等日本語教師会との文化交流

プロフィール・ほか

- 所属：栃木県小山市市民生活部国際政策課
- クレア時代の所属：
2016年4月～2017年3月
東京本部 JETプログラム事業部研修カウンセリング課
2017年4月～2019年3月
クレアシンガポール事務所